

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木2-4
編集部長 03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務部長 03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
e-mail info@n-mokuzai.com
購読料 1か月 6,200円
©日刊木材新聞社 2016
本紙の無断複製(コピー・PDF配布)は、著作権の侵害にあたり違法です。

記事の森から世界が見える

木材建材ウィズリー
Japan Lumber Reports

床と壁のハイオニア

孝和建商(株)

千葉市中央区長見町16-112
0431-2451411

http://www.kouwa.com

内外産合板で「地球樹エコブランド」追加

伊藤忠建材

クリーンウッド法にらみ環境対応重視

伊藤忠建材(東京都、柴田敏雄社長)は4日、内外産合板・ボードなどを取り扱う木質素材事業(森康事業部長)の今後の展開として、自社の環境対応型OEMブランド「地球樹」に新規品目を加え、業容拡大を進めることを明らかにした。とりわけ輸入合板については、メーカーとの連携で植林木・PEFCやFSCなどの認証材を利用した合板の性能が担保されたこともあり、本格販売する。

同社は建材商社(住友林業木材建材事業本部含む)の内外産合板の取扱高比率では20%で3位だが、国内合板では同25%でトップ。また、同社の内外産合板販売額の比率では国内産合板が今期(4~8月)66.5%と前年同期比3.9%引き上がった。柴田社長は「円高が続いても、内外の合板企業を取り巻く環境の構造変化によって、今後国内産の合板シェアが高まっていくと考えられる。今年には内外産合板の比率が逆転し、国内産合板が52%強と過半数を占める見込みだ。これは1995年以来21年ぶりの出来事だ。一方で、植林木を有効活用する技術開発を先進的に進めている海外の企業とも連携を深めてきたこともあり、安定供給されること考えた。内外の事情を考慮し、今後、地球樹ブランドを基軸にしてポータビリティを強化する」と述べている。

このため、木質素材事業部は内外産合板販売量の20%(前期実績)に相当する地球樹エコブランド品目の追加を明らかにした。海外産では全量植林木でのハイブリッド合板、森林認証材を利用した塗装型や構造用合板、国内産は松を利した構造用合板など。全量植林木ハイブリッド合板は、環境対応型として展開する。国内産合板分野では新たに「輪彩」(ひのきさいぶら)を販売する。日新グループとの協業によるもので、選別した松材を生かした構造用合板、西

ベンチャー製品の流通拡大に向け協働体制

建設資材ネットワーク

地域性分析し企業間の協力図る

今年7月に東北ネットワーク会を前身に設立された建設資材ネットワーク(事務局 山一建設資材盛岡事業所)の取り組みが注目されている。

同ネットワークは、「として参加し、開発した商品や工法、取り扱い」と、製品販売などを行って商品販売を行って

地域のベンチャー商社などの販売を全国に広めるため、販売協力体制を敷くもの。参加企業には、製品を提供する製品パートナー、製品ページの製品パートナーのページに商品と商品解説を掲載し

うサポーターパートナーの2種類がある。製品パートナーは、ホームページの製品ページに商品の解説を掲載し、商品の販売を行って

また、異なる製品パートナーの商品を合わせて使用するコラボレーション効果も期待できる。準不燃加工木材やインヴァーフロア、透湿防水シートのタイプなど、RC用EV外断熱工法などの工法も登録されている。

サポーターパートナーは、地域のベンチャー商品への取り扱いを行う販売会社、施工会社など、現在、山一建

集成材

FSC SSGE お願い合せ下さい

TSC株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL:0438-37-0206 FAX:0438-37-2349
ホームページ http://www.syusel-tsc.com

え、合法性担保を求めユーザを軸に取り扱いを増やす。ブランド名は「Save nature 構造用」「Save nature 塗装型」など。Save nature プラ

- 主な記事
- ▽2面 大塚設備
 - ▽3面 広島周亮
 - ▽4面 上信隆光
 - ▽5面 関西、四国版
 - ▽6面 建材、住設版
 - ▽7面 日本共済
- 得、ファーストウッド

日本で販売する。東日(藤野、田中勉一社長)がFSCの森林認証を取得しており、多摩木材センター(東京都西多摩郡)も東京都の支援事業を通じてFSC・SGEのCOCC認証を取得しているため、森林認証の連鎖が繋がった。

沖倉製材材所社長は、「FSCの認証を取得したことで、認証材の引き合いがもう入ってきた。当社ではテーブルやイスなどの家具、木製品の最終製品も作っており、FSCのマークで出荷できる」と語る。

田中田中林業社長は「これまでFSCの森林認証があっても、PR的な効果しかなかったが、連鎖が繋がったが、連鎖が繋がったが、実際の仕事につながりそうだとこれから炭の生産も行おう予定だ。炭もFSCの認証材で供給したい」と話している。

プレカット市売・付売

大島木材株式会社

本社 東京都足立区竹の塚6-16-1 大島ビル4階
03(3850)6110 FAX03(3850)6113

本社プレカット工場 03(3850)6112 FAX03(3850)6115

栃木県栃木市西方町金井1155 0282(91)1313 FAX0282(91)1315

栃木県栃木市西方町金井1155 0282(91)1414 FAX0282(91)1415

千葉県柏市西ヶ谷6-9-0 04(7193)3223 FAX04(7193)3221

安城県土浦市荒川町神前1-13 029(843)00116 FAX029(843)0013

壁際で発生する問題を解決します!!!

床には**万協フローアー・システムネダ**を使いましょう

在来フローアー → 万協システムネダ

- 木痩せによる床鳴り
- 不陸によるレベル調整の手間
- 床衝撃音遮断性能の低下
- 床衝撃音遮断性能の向上
- スラブロックでしっかり固定
- 床鳴り低減

万協システムネダ

万協システムネダ SNP型

万協システムネダ

ISO 9001 認定工場 ISO 14001 認定工場 (万協株式会社)

万協株式会社
Tel.0265-83-1138 Fax.0265-83-9663
〒399-4102 長野県長野市西原2-8-34 飯坂工場

万協株式会社
Tel.03-5424-0707 Fax.03-5424-0717
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズビル1(旧日産車庫口側) http://www.bankyo.co.jp